



七色の虹



富士市立富士中央小学校
学校だより 第10号
令和6年2月1日 児童数 566人



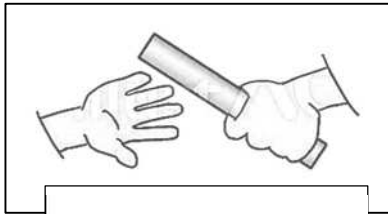
立春 「継承」

暖冬と言われながらも、朝の冷え込みが厳しく感じられるようになりました。正門近くの緑道に立つモクレンもつぼみを上にまっすぐ伸ばし、青空の下、子どもたちの行き来を毎日見守っています。

年が明けて、一か月がたちました。子どもたちは、各教室で新しく学ぶことに日々取り組んでいます。運動場では寒さに負けずに縄跳びや大縄の練習に励む子が見られ、音楽室や低学年の教室からは歌声や合奏する曲が聴こえてきます。休み時間には、運動場に友達と声を掛け合いながら駆け出していく子、図書室で静かにじっくり本を選ぶ子、教室などで友達と楽しそうに過ごす子など、子どもたちが思い思いの時間を楽しんでいる様子が見られます。

1月後半から、校内でもかぜなどで欠席する子が多く見られるようになりました。空気が冷たく乾燥した時期ですので、子どもたちが体調を崩さないように、今後もうがいや手洗いの励行、各教室における換気など、基本となる予防対策を講じていきたいと思えます。御家庭におかれましてもお子様の体調管理に引き続き気を付けていただき、子どもたちが毎日元気に登校し、学びを積み重ねられるよう御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2月後半には、「卒業を祝う会」「委員会引継ぎ式」を予定しています。今まで、学校のリーダーとして下級生の先頭に立って頑張ってきた6年生の卒業を全校でお祝いします。また、委員会引継ぎ式では、6年生からバトンを受け取った5年生が学校のリーダーを引き継ぎます。どちらも子どもたち全員にかかわる大事な行事です。「卒業を祝う会」とその後に行う「たてわり遊び」は、5年生がリーダーとなって学校全体を動かします。5年生にとっては、リーダーとなって初めて取り仕切る行事となります。5年生の頑張りを期待しています。6年生はこれを境に、「卒業」に向けて小学校6年間のまとめに入っていきます。6年生には、「有終の美」を飾ってほしいと期待しています。



6年生から5年生へ

創立30周年を迎えて(8)「子どもたちによる創立30周年企画2」

1月号では、園芸委員会と図書委員会による創立30周年企画をお伝えしました。今回は、環境と広報委員会の活動を紹介します。

環境委員会が中心となって、毎月行われているアルミ缶回収。これまでも保護者の皆様に御協力をいただき、多くのアルミ缶を回収させていただいております。また、地域の方々にも御協力をいただき、東門に設置しているアルミ缶回収ボックスにアルミ缶を入れていただいております。おかげさまで、回収したアルミ缶は業者に引き取っていただき、子どもたちの活動のために使う資金として貯蓄しています。その貯蓄額が、もうすぐ30万円に近づいているということで、環境委員が昼の放送で全校の子どもたちに、「みんなでアルミ缶を集めて、30万円を達成しよう!」と呼び掛けました。その結果、いつも以上に多くのアルミ缶が集まり、環境委員も回収ボックスに協力しながらアルミ缶を運びました。中には、大きな袋いっぱい空缶を入れて持って来てくれた子も多く見られ、子どもたちの思いがアルミ缶の量に表れていました。アルミ缶回収を通して、子どもたちの持つ力の大きさを感じました。今回のこの活動におきましても、保護者の皆様には御協力をいただき、感謝申し上げます。

ある昼の放送で、私たち大人にとってはとても懐かしい曲が流れました。子どもたちも、テレビやどこかで一度は聞いたことがあるだろうと思われる曲です。曲名は、ZARDの「負けないで」。今回、この曲が放送で流れたきっかけは、「創立30周年にちなんで、30年前に流行った曲を流そう!」という音楽委員の発想からです。当時、私自身もまだ20代後半で、この曲を流しながら子どもたちと走ったり、ボール運動をしたりしていたのでとても懐かしく感じ、思わず口ずさんでしまいました。「負けないで」は、聴く人に元気や勇気を与えてくれる名曲だと私は思います。

富士中央小の子どもたちもこの曲の歌詞にあるように、どんな時も前を向き、自分の力でたくましく「負けないで」進んでいってほしいと願っています。



集まったアルミ缶

